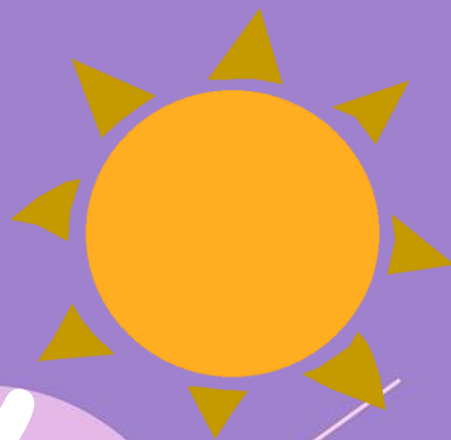


北海道看護協会
札幌第3支部



さん SAN

ひろば

Contents

- ・看護の日 健康フェア
- ・どうする？新入職員教育
～新入職員の特性を知ろう～

2025. Vol.34



看護の日 健康フェア



令和7年6月7日(土)、白石区ラソラ札幌B town 1階エスカレーター付近にて、札幌第3支部役員主催の「看護の日 健康フェア」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、週末ということもあり多くの来場者で賑わいました。

会場には、血圧測定、血管年齢チェック、ストレスチェック、体重・体脂肪測定、脱水チェック、人体模型展示など多彩な健康コーナーが設けられました。特にストレスチェックや人体模型コーナーは人気が高く、順番待ちをする方や実際に触れて人体の仕組みに関心を示す子どもたちの姿が印象的でした。

役員の皆さまは北海道看護協会のカラフルな法被をまとい、優しく声をかけながら対応し、多くの方に健康づくりへの意識を高めてもらう機会となりました。今年はイメージキャラクター「かんごちゃん」も登場し、子どもから大人まで写真撮影やふれあいを楽しみ、会場は笑顔であふれていました。

今回のフェアを通じて、幅広い世代に看護や健康への関心が広がり、将来の看護職へのきっかけづくりにもつながったのではないのでしょうか。札幌第3支部役員の皆さま、本当にお疲れさまでした。

広報委員 松田有希 齊藤和恵



どうする？新入職員教育 ～新入職員の特性を知ろう～

2025年7月25日(金)、北海道看護協会にて「どうする？新入職員教育～新入職員の特性を知ろう～」研修会が開催され、沢山の方々が参加されました。

午前中は、JCHO北海道病院の鈴木千春先生より看護の動向についての講義が行われ、参加者は資料にメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。

続いて、札幌看護医療専門学校白石直美先生より、Z世代やコロナ禍で学生生活を過ごした世代の特徴を踏まえた関わり方や、新カリキュラム移行後の傾向についての講義がありました。午後はグループワークを実施し、指導に困った場面や各施設での実践、今後取り入れられそうな工夫について活発な意見交換が行われました。世代間ギャップはいつの時代も課題となりますが、講義とグループワークを通じて、Z世代の強みを生かした効果的な関わり方を学ぶ有意義な機会となりました。

本研修で得た学びが、今後の新入職員指導に活かされることが期待されます。講師の先生方をはじめ、主催・運営に携わられた皆さまに感謝申し上げます。

広報委員 種田有日子 金澤一弘



札幌第3支部今後の事業予定

医療安全交流会

日時:9月20日(土)

会場:アスティ45ACU1206号室

テーマ:ヒューマンエラー事象分析

人間の行動モデルに基づく分析手法ImSAFAR

講師:吉川 江利子

(ImSAFAR研究会公認インストラクター)

看護実践報告会

日時:9月27日(土)

会場:アスティ45ACU大研修室1606号室

第3支部保健師職能研修

日時:11月8日(土)14:00~16:00

会場:ホテルエミシア クラウン

テーマ:身につけよう!アサーティブコミュニケーション

講師:北海道医療大学看護福祉学部看護学科 中安隆志

みなさんの参加をお待ちしています

編集後記

朝夕の風に少しづつ秋の気配を感じる季節となりました。

札幌第3支部では、これからも楽しく学べる研修会を企画しています。学びを通して日々の看護に新しい気づきを取り入れていただければ嬉しいです。

季節の変わり目、体調を崩されませんようお身体を大切にお過ごしください。

今後ご意見・ご感想お待ちしております。

広報委員 佐藤大樹